

ご近所の お医者さん

493

大阪鉄道病院長 **上田祐二さん** ー阿倍野区

鉄道と病院

皆さん、「企業立病院」をご存じですか。企業立病院とは、民間企業が運営する病院です。全国で60前後の企業立病院が存在し、その一つに大阪鉄道病院があります。企業立病院の設置母体にはインフラ企業が多いことが特徴の一つで、同院は鉄道を基幹事業にしているJ

インフラ企業 社会貢献

R西日本が設置母体です。これから「鉄道+病院」鉄道病院について、少しお話ししたいと思います。旧国鉄がJR7社に分割民営化されたのは1987年ですが、国鉄時代に



は職員とその家族の健康を守るための職域病院として、大正の初めから全国に多くの鉄道病院が設置されました。しかし、経営改善や合理化のため、昭和末期からその中の基幹病院は一般診療を開始すると共に、規模の小さい多くの病院は閉鎖されました。その結果、

は、「大阪鉄道病院には、ぜひこれからも病院名の『鉄道』を守り抜いてほしい」とよく言われます。私自身も5年前の着任を契機にすっかり鉄ちゃんになりましたので、強くそう願っています。

現在JRの病院は全国で6カ所になりました。いずれの病院も、職員の健康増進と、社会インフラ企業として医療の分野で地域社会に貢献することを主眼に運営されています。

台風や豪雨、地震などの自然災害時には、鉄道は社会経済活動の回復のために一刻も早い復旧を求められ、そして病院は休むことなく被災者の皆さんの命と健康を守る必要があります。

そこで興味深いことは、大阪を除いた他の5病院は、建て替えや移転を契機に病院名から「鉄道」という文言を外してしまっただけのことです。「鉄ちゃん」(鉄道マニア)の皆さんから

ん。鉄道も病院も我々の生活に必要な不可欠な社会インフラです。医療を取り巻く厳しい時代背景や、企業を取り巻く厳しい経営環境に追従するように、企業立病院は近年その数を減らしつつあります。しかし、地域社会に貢献し続ける「鉄道病院」の運営を、今後も職員一同と共に担っていきたく考えています。